

～ネイチャーポジティブ社会を九州の地から～

自然共生サイト

「綾町イオンの森」と「割付地区の日向夏畑」

2025年5月22日
公益財団法人イオン環境財団

綾町イオンの森づくりの経緯

宮崎県綾町は日本最大規模の照葉樹林の自然林が広がる町で、2012年にユネスコエコパークに登録された。イオン環境財団は、2013年より町有林伐採跡地を「綾町イオンの森」として植樹を開始し、2017年からはユネスコ人間と生物圏(MAB: Man and the Biosphere)計画のグローバル基準に基づいた森づくりを実施



2013年植樹開始時



2024年10月

綾町イオンの森づくりの経緯



2013年の植樹から10年以上経過し、環境教育や伝統文化の学習フィールドとして学生や地域の方々が活用。炭素蓄積量調査、成長した木々の枝打ち、草木染体験等も実施

自然共生サイト認定

「綾町イオンの森」と隣接する「割付地区の日向夏畑」が自然共生サイト認定

綾町イオンの森

エリアマップ

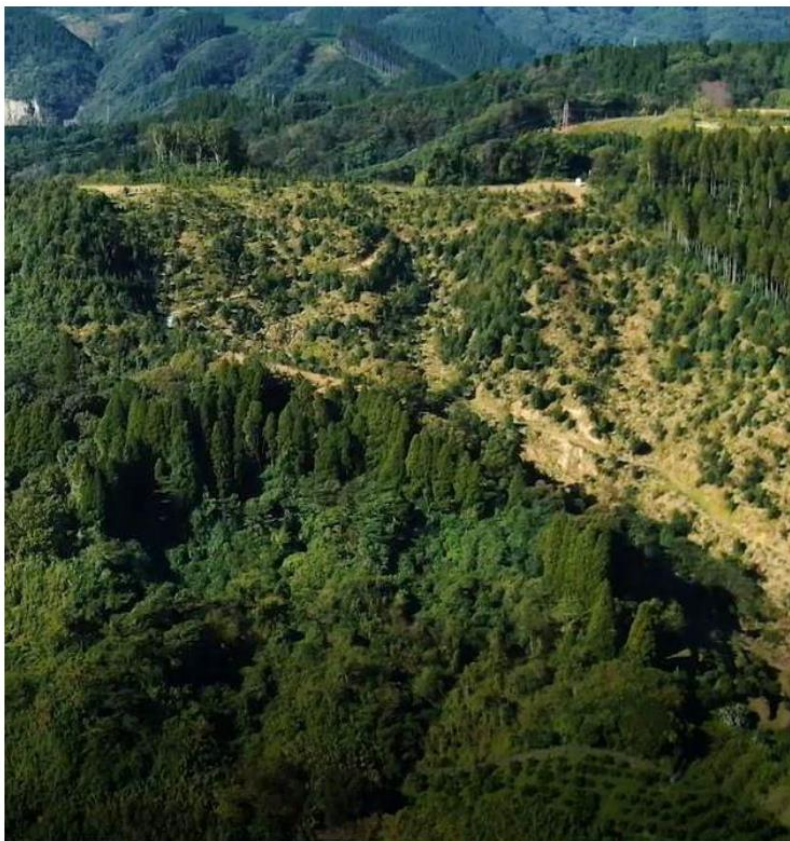
【綾町イオンの森遊歩道モデルコース】(約2時間)

- 馬事公苑
- 徒歩約15分
- 割付の公園
- 徒歩約10分
- 遊歩道入口
- 徒歩約35分
- 尾立物見やぐら
- 徒歩約50分
- 馬事公苑



自然共生サイト認定

「綾町イオンの森」に植樹したヤマザクラなどの花木が、ミツバチなど受粉媒介の昆虫を育み、東側に広がる日向夏畑に実りをもたらし、また、希少な動植物が生息生育していることなどを評価



コキンバイザサ



100才以上の日向夏の古木



樹木の大きさを計測する中学生



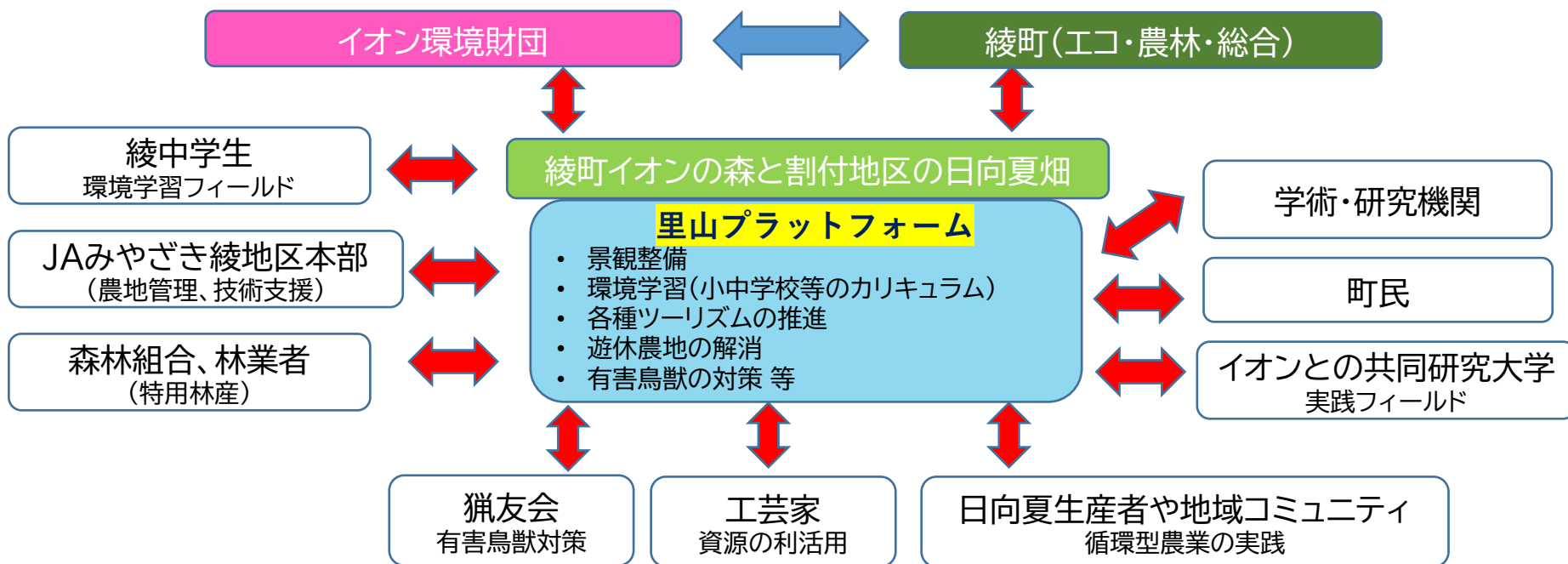
ムササビ

綾町との包括連携協定

綾町と公益財団法人イオン環境財団は、持続可能な地域社会構築のため生態系サービスを支え、人と自然が共生する新たな里山を目指して連携

1. 生物多様性保全と持続可能な利活用のための里山づくりの推進
2. 地域の伝統文化継承と新たな文化創造を含めた環境教育の実施
3. 綾町イオンの森を中心とする自然共生サイトの拡大

綾町イオンの森 里山価値創造プラン(案)(多様な主体が利活用できるコモンズ機能)



公益財団法人イオン環境財団



木を植えています

未来の子どもたちのために